



## コマツナ栽培における主な病害虫防除対策

コマツナ栽培では作型や圃場条件などによって、病害虫の発生や被害が大きく異なりますので、作期ごとに病害虫の発生の様子をよく観察し、それらに適した防除体系を組み立てることが重要になります。

### 病害虫の発生の特徴

#### < 病害 >

- ①早春または晩秋の低温多湿のときに葉や茎に**白さび病**や**べと病**が発生します。
- ②梅雨期や秋の長雨期には**炭疽病**、**黒斑細菌病**、**白斑病**などが葉や茎に発生しやすくなります。
- ③土壤病害では、春～秋に**立枯病（リゾクトニア病）**が、夏季には**萎黄病**などの発生がみられます。

#### < 害虫 >

- ①**キスジノミハムシ**や**アザミウマ類**は夏季を中心に長期に被害が発生します。
- ②**アブラムシ類**や**ハモグリバエ類**は春と秋に発生しやすく、アブラムシ類はウイルスを伝染します。
- ③チョウ目害虫の**アオムシ**、**コナガ**、**ヨトウムシ類**は春と秋を中心に発生しますが、**ハイマダラノメイガ**は夏季～初秋に発生し被害が集中します。これら害虫の防除が手遅れになると、大きな減収を招きます。



### 防除対策のポイント

コマツナは登録薬剤が少ないため、**薬剤防除のみに頼らない総合防除が必要です。**

- ①多湿条件が病害の発生を助長するため、圃場排水の改善や高畦栽培を行い、**過度の灌水を避けます。**ハウスやトンネル内を適度な湿度条件に保つため換気等により**適正管理に努めてください。**
- ②被害株は早めに除去し、発生場所を中心に**薬剤防除を行います。**なお、**連作や土壤病害が発生したハウスでは除塩を兼ねて、夏季の還元型太陽熱土壤消毒などを実施しましょう。**
- ③害虫やモザイク病を媒介するアブラムシの対策には、ハウスやトンネルの開口部に**防虫ネットを展張して、害虫の侵入を防ぐことが最も重要です。**
- ④害虫の飛来源、ウイルスの保毒源となる圃場内外の除草を徹底するなど、圃場衛生に努めます。
- ⑤播種前や播種時に**粒剤等を適切に処理し、被害が発生したら発生株の早期除去や薬剤防除を実施しましょう。**

表1 コマツナ各種病害に対する主な防除薬剤

(令和5年8月15日現在)

対象病害					薬剤名	使用量または希釈倍率	使用時期 / 使用回数	分類
立枯病 (リゾクトニア病)	白さび病	白斑病	炭疽病	べと病、軟腐病、 黒斑細菌病				
○					フロンサイド粉剤	30kg/10a 全面土壌混和	播種前/1回	29
	○				ユニフォーム粒剤	9kg/10a 全面土壌混和	播種前/1回	4と11
				○	Zポルドー	500倍 (軟腐病 500~1,000倍)	- / -	M1
			○		スクレアフロアブル	2,000倍	収穫前日まで/3回以内	11
	○				ランマンフロアブル	2,000倍	収穫3日前まで/3回以内	21
	○	○			アミスター20フロアブル	2,000倍	収穫7日前まで/2回以内	11

注) 分類欄には、FRACコードを記載しました(コードが2つは混合剤)。同一分類(コード)は作用点が同じなので、連用は避けてください。

表2 コマツナ各種害虫に対する主な防除薬剤

(令和5年8月15日現在)

対象害虫						薬剤名	使用量または希釈倍率	使用時期 / 使用回数	分類
アブラムシ類	アオムシ	コナガ	ハモグリバエ類	アザミウマ類	キスジノミハムシ				
					○	フォース粒剤	4kg/10a 全面土壌混和	播種前/1回	3A
○						ダントツ粒剤	6kg/10a 播種処理土壌混和	播種時/1回	4A
○						ジェイエース粒剤	3~6kg/10a 作条散布後土壌混和	播種前/1回	1B
		○			○	アクセルフロアブル	1,000倍	収穫前日まで/3回以内	22B
		○	○		○	アニキ乳剤	1,000~2,000倍	収穫前日まで/3回以内	6
○						ウララDF	4,000倍	収穫前日まで/2回以内	29
	○	○				エコマスターBT	1,000~2,000倍	発生初期(収穫前日)まで/-	11A
	○	○		○		ディアナSC	2,500~5,000倍	収穫前日まで/2回以内	5
	○	○				プレオフロアブル	1,000倍	収穫前日まで/2回以内	un
	○	○			○	プロフレアSC	2,000~4,000倍	収穫前日まで/3回以内	30
	○	○				コテツフロアブル	2,000倍	収穫3日前まで/1回	13
	○	○	○マメハモグリバエ			カスケード乳剤	2,000倍	収穫7日前まで/2回以内	15
○					○	モスピラン顆粒水溶剤	4,000倍	収穫7日前まで/1回	4A

注) 分類欄には、IRACコードを記載しました。同一分類(コード)は作用点が同じなので、連用は避けてください。

- 農薬使用の際は、必ずラベル及び登録変更に関するチラシ等の記載内容を確認し、飛散に注意して使用して下さい。
- 営農 News は JA 全農いばらきホームページでもご覧になれます。